

.....

**館園名** : 塩沢町立今泉博物館

**1. 施設の概要**

**開館年月日（西暦）**

・1990年08月09日

**所在地**

・〒949-6363 新潟県南魚沼郡塩沢町大字下一日市 855

**公式サイト**

・<http://www.imahaku.jp>

**設立主体**

・塩沢町

**運営主体**

・(財)塩沢町文化、スポーツ事業振興公社

**設立目的**

・地域文化の振興と活性化を願い、当町出身者の今泉隆平氏からの寄附金により建設されました。

**展示概要**

・南太平洋地域の民族資料を中心として、世界の仮面、人形、や現代日本の版画、町内出土の遺物を展示。中でも、パプアニューギニアの民族資料は日本一の質と量を誇る。(収蔵数 約 6500点)

**活動概要**

- ・年3回程度、地元の作家や国内の著名な作品などの企画展を開催。
- ・6種類の体験教室、絵画コンクールを実施。
- ・施設貸出（企画展示室、研修室）を行っている。
- ・パプアニューギニアの収蔵目録①～⑤発刊。⑥は2005年春頃発刊予定。

**延床面積**

・2,956.3 m<sup>2</sup>

**全職員数（常勤職員）**

・4名（2004年12月現在） ※内1名は教育委員会より出向

**年間運営費**

・約19,000,000円（2003年度）

**総資料点数**

・約8,600点（2004年12月現在）

**施設その他**

・

## 2. ボランティア活動 名称：今泉博物館（略称 IMAHAKU）緑の会

### 活動目的・経緯

- ・塩沢町立今泉博物館緑地の整備を通して、町民の集いと憩いの場を創るとともに、塩沢町立今泉博物館の活性化に貢献することを目的とする。

2004年8月1日より施行。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 43名（2004年12月現在）
- ・ 男性：28名、女性：15名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

### ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（ ） 名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 緑地の整備、植樹など。
- ・
- ・
- ・

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 会に会長及び副会長を各1名置き、会議は必要に応じて開催する。
- ・ 庶務及び会計は、塩沢町立今泉博物館に於いて処理する。

### 関連する出版物

- ・ 今泉博物館（IMAHAKU）緑の会通信（1号、2号）

### 関連するHP

- ・ <http://>

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

活動個別シート 活動名：

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2004 年

◇活動人数

- ・ 43 名（2005 年 1 月現在）

◇活動内容

- ・ 緑地の整備、植樹など。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 館の予算で、25 万位計上している。

◇運営（シフト 等）

- ・ 会議や活動日は、参加が多数見込める日に行っている。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 会議は不定期であるが行っている。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 町広報紙で募集。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 館外研修を 1 回行った。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 土壌が貧弱な為、植樹などを行っても維持が大変である。
- ・ 大型機械のリースなどで、経費がかかる。会が発足して間もない為、これから展開が広がって行くと思う。

◇その他

- ・

.....

**館園名** : 上越市立水族博物館

### 1. 施設の概要

#### 開館年月日（西暦）

・1980年07月18日

#### 所在地

・〒942-0004 新潟県上越市西本町4丁目19-27

#### 公式サイト

・<http://www.city.joetsu.niigata.jp/inform/sisetu/aquarium>

#### 設立主体

・上越市

#### 運営主体

・上越市

#### 設立目的

・市民の教育、学術及び文化の向上を図るため設置。

#### 展示概要

- ・約400種10,000点の水生生物を飼育・展示。（トロピカランド水槽、熱帯・温帯・寒帯系各水槽、マリンジャンボ水槽、アザラシプール、ペンギンランド、ビーチランド等）。
- ・博物館ホール、海のマルチシアター、子供科学館「ワンダーランド」、サイクルモノレール他。

#### 活動概要

- ・夏季特別展としてイルカショーを開催。また4～5月には春の企画展を開催。
- ・写生会、「飼育係の一日」体験学習、飼育教室、サケ観察・体験学習、「夜の水族館」探検隊、自由研究のお手伝い、なぎさ探検隊、クイズラリー、舞台裏ウォッチング等を実施。

#### 延床面積

・6,916.57㎡

#### 全職員数（常勤職員）

・12名（2004年12月現在）

#### 年間運営費

・301,128,000円（2003年度）

#### 総資料点数

・8,402点（2004年12月現在）

#### 施設その他

- ・施設の老朽化が進み、平成16年度に新水族博物館整備検討委員会を立ち上げ、今後の方向性について研究・検討を行っている。

## 2. ボランティア活動 名称：水族博物館愛好会（仮称）

### 活動目的・経緯

- ・市民と行政との協働によるまちづくりの一環として立ち上げる。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 7名（2005年1月現在）
- ・ 男性：2名、女性：5名
- ・ 平均年齢42歳：男性58歳、女性35歳

### ボランティア担当職員（2005年1月現在）

- ・ 部局名称：飼育係
- ・ 担当人数：常勤職員3名・その他（ ） 名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 1. 常設展示水槽等の解説。
- ・ 2. バックヤード見学の案内、補助。
- ・ 3. 各種行事の受付、案内。
- ・ 4. 教育普及活動の補助、解説。
- ・ 5. 調査研究の補助。
- ・ 6. 飼育業務の補助。
- ・ 7. 宣伝PRへの参加。
- ・ 8. 体験教室の講義。
- ・ 9. 植栽の管理。

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 館により運営。
- ・ 2004.6月に立ち上げ、今後、ボランティアとの協議などによって、活動内容や、運営方法等  
を確立して行きたい。

### 関連する出版物

- ・ 現在無いが将来考えていきたい

### 関連するHP

- ・ <http://>
- ・ 現在無いが将来考えていきたい

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ 未定。

## その他のボランティア活動

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 2004 年

### ◇活動人数

- ・ 1 名（2005 年 1 月現在）

### ◇活動内容

- ・ 入館者を対象に、染色体験講座を実施。

### ◇活動日

- ・ 2004. 8. 28。 12. 25。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 作業机、展示品用パネル、及びライト。

### ◇運営（シフト 等）

- ・ ボランティアが講習を行う。ボランティアが補助員 1～2 名を引率する。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・ 無。

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 一般ボランティアと同様、市の広報などに募集要項を掲載して募集を行う。(2004. 6/1～6/30)
- ・ 資格、18 歳以上（高校生は除く）で健康な方、他、面接にて登録。
- ・ 定年制なし

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ オリエンテーション（職員による説明）
- ・ 目的別研修、活動内容別に個別的、専門的な分野についての研修（本活動はない。一般的）。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入している（費用は館が負担）。
- ・ 無報酬。

### ◇評価

- ・ 未定。

### ◇課題と展望

- ・ 体験者からは好評を得ている。
- ・ ボランティアの制作品の特別展示を検討。

### ◇その他

- ・

.....

**館園名** : しろね大凧と歴史の館

**1. 施設の概要**

**開館年月日（西暦）**

- ・ 1994年 8月 6日

**所在地**

- ・ 〒950-1214 新潟県白根市大字上下諏訪木1770-1

**公式サイト**

- ・ <http://www.city.shirone.niigata.jp>

**設立主体**

- ・ 市営

**運営主体**

- ・ 市営

**設立目的**

- ・

**展示概要**

- ・ 「日本中の凧」と「世界の凧」800点を展示。

**活動概要**

- ・ 年間を通し、凧に関する特別展の開催。
- ・ 学校教育活動や子ども育成関係団体、一般者への凧作り・凧揚げ指導。
- ・ 社会科における、ふるさとの歴史授業対応。

**延床面積**

- ・ 2,733㎡

**全職員数（常勤職員）**

- ・ 2名（2004年12月現在）

**年間運営費**

- ・ 41,580,000円（2003年度）

**総資料点数**

- ・ 4,500点（2004年12月現在）

**施設その他**

- ・ 3D映像機器の整備充実（スクリーン150インチ他）。
- ・ 2005年03月21日新潟市へ合併。

## 2. ボランティア活動 名称：しろね凧トピア

### 活動目的・経緯

- ・ 年間を通して、凧作り、凧揚げ体験を実施し、学校、団体等の利用が多くあることから、市内の凧愛好者を集り指導に当たってもらっている。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 10名（2004年12月現在）
- ・ 男性： 10名、女性： 名
- ・ 平均年齢 67歳：男性 67歳、女性 歳

### ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：しろね大凧と歴史の館
- ・ 担当人数：常勤職員 2名・その他（嘱託職員）1名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ①凧作り、②凧揚げ指導。
- ・ ③凧展示。

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 日の凧の会と連携。
- ・ 白根凧合戦協会との連携。
- ・ 日本国内や外国招請による凧揚げ大会参加。
- ・ 学校他凧作り等出前講座。

### 関連する出版物

- ・ 無

### 関連するHP

- ・ <http://> 無

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ 無。



活動個別シート 活動名：①凧の製作・揚げ方等に係る実習及び講習

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1994年

◇活動人数

- ・ 10名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・ 学校他団体等の凧作り・凧揚げ指導。
- ・ 機関・団体等のイベント開催に伴う協力・連携。

◇活動日

- ・ 活動内容によって、連絡し協力を願う。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 無。

◇運営（シフト 等）

- ・ 特に無。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 特に無。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 特に無。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 無。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 手当として、半日2000円・1日3000円を支給している。

◇評価

- ・ 無。

◇課題と展望

- ・ 活動メンバーの老齢化している（今後もこのような状態で推移）。

◇その他

- ・ 入館者の70%が県外の旅行者であり、大人の凧作り体験も出てきている。

.....

**館園名** : 財団法人 痴娯の家

**1. 施設の概要**

**開館年月日（西暦）**

・ 1995年04月28日

**所在地**

・ 〒949-3661 新潟県柏崎市青海川181

**公式サイト**

・ [http:// www.city.kashiwazaki.niigata.jp/hidamari/tigonoya/](http://www.city.kashiwazaki.niigata.jp/hidamari/tigonoya/)

**設立主体**

・ 財団

**運営主体**

・ 財団

**設立目的**

・ 柏崎市制50周年記念事業として、故岩下庄司が収集した郷土玩具コレクションを公開し、民俗資料として調査、研究に資するため。

**展示概要**

・ 全国各地の郷土玩具（土人形、張子、凧、こけし、練り物、木地玩具、絵馬、土鈴、紙玩具）一万点を展示。

**活動概要**

・ 年三回特別展。

**延床面積**

・ 533 m<sup>2</sup>

**全職員数（常勤職員）**

・ 1名（2004年12月現在）

**年間運営費**

・ 円（2003年度）

**総資料点数**

・ 点（ 年 月現在）

**施設その他**

・

## 2. ボランティア活動 名称：痴娯の家ボランティアグループ

### 活動目的・経緯

- ・ 館内の案内。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 2名（2004年12月現在）
- ・ 男性：1名、女性：1名
- ・ 平均年齢65歳：男性65歳、女性65歳

### ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 名・その他（ ） 名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・
- ・
- ・
- ・

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 現在活動していない。  
ボランティアの人々に手伝ってもらうほど入館者がいない。

### 関連する出版物

- ・

### 関連するHP

- ・ <http://>

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

.....

**館園名** : 伝承の里 綾子舞会館

**1. 施設の概要**

**開館年月日（西暦）**

・1999年04月01日

**所在地**

・〒945-1252 新潟県柏崎市大字女谷 4529 番地

**公式サイト**

・<http://www.city.Kashiwazaki.niigata.jp>

**設立主体**

・柏崎市農林水産課

**運営主体**

・柏崎農業協同組合・柏崎市教育委員会

**設立目的**

・伝統文化活用型交流促進の為。

**展示概要**

- ・綾子舞に関する衣装、道具、資料等。
- ・VTR鑑賞コーナー。
- ・地域特産品、グッズ他。

**活動概要**

- ・展示内容説明、歴史、由来などへの質疑応答。
- ・小中学生の総合学習依頼引受け。
- ・研究者への対応。
- ・現地公開（9月）
- ・依頼公演（臨時）

**延床面積**

・372.64 m<sup>2</sup>

**全職員数（常勤職員）**

・2名（2005年1月現在）

**年間運営費**

・約500,000円（2003年度）

**総資料点数**

・約200点（2005年1月現在）

**施設その他**

・特になし。

## 2. ボランティア活動 名称：柏崎市綾子舞保存振興会・柏崎市綾子舞後援会

### 活動目的・経緯

- ・ 毎年9月第1日曜に現地公開が行われる。その際の受付・会場整理、グッズ販売、解説、振興などを担当する。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 60名（2004年9月現在）
- ・ 男性：35名、女性：25名
- ・ 平均年齢47歳：男性48歳、女性46歳

### ボランティア担当職員（2004年9月現在）

- ・ 部局名称：柏崎市綾子舞保存振興会・柏崎市綾子舞後援会
- ・ 担当人数：常勤職員2名・その他（ ）4名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 展示解説。
- ・ 総合学習講師。
- ・ 各種講演講師。
- ・ 現地公開支援。

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 柏崎市綾子舞保存振興会・柏崎市綾子舞後援会、共に年1回以上の会議を行う。
- ・ 家元は年30回ぐらいの練習会をする。

### 関連する出版物

- ・ 綾子舞後援会会報（毎年3月発行）
- ・ 現地公開案内状（毎年8月発行）

### 関連するHP

- ・ <http://>

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ ホタル学会、〇〇山岳会、公民館講座など、学館の展示内容も含めて学習会や講座を行っている。

活動個別シート 活動名：①展示解説・各種講演講師・現地公開支援等

◇活動開始年（西暦）

- ・ 年

◇活動人数

- ・ 60名（2004年9月現在）

◇活動内容

- ・ 展示解説。
- ・ 総合学習講師。
- ・ 各種講演講師。
- ・ 現地公開支援。

◇活動日

- ・ 水曜、12/29~1/5を除く毎日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 消耗品補助のみ。

◇運営（シフト 等）

- ・ 企画会議は市の教育委員会で行っている。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ t e l、文書等で適宜応えている。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 全日本文化財保護連盟の会議に出席。
- ・ 県文化財保護連盟の会議に出席。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 総合学習への対応。研究。

◇その他

- ・ 積雪多、冬場は訪れる人が少ない。

.....

**館園名** : トミオカホワイト美術館

## 1. 施設の概要

### 開館年月日

- ・ 1990年11月03日

### 所在地

- ・ 〒949-7124 新潟県南魚沼市上薬師堂 142

### 公式サイト

- ・ <http://www.mynet.ne.jp/white/>

### 設立主体

- ・ (財)八海山「白の世界」文化村

### 運営主体

- ・ (財)八海山「白の世界」文化村

### 設立目的

- ・ 雪の美しさを徹底的に追求し続けた富岡画伯が、作品を雪国に還すことを念願し、雪国の中でも最も雪国らしいところ、越後八海山麓に開館。

### 展示概要

- ・ 「富岡惣一郎白の世界」シリーズ、400点を収蔵展示。30年以上の制作の軌跡を、テーマ別、取材地別などでまとめ、年3~4回展示替え。

### 活動概要

- ・ 富岡惣一郎の作品展示、コンサート、講演などを実施。

### 延床面積

- ・

### 全職員数

- ・ 4人

### 年間運営費

- ・

### 総資料点数

- ・ 約500点

### その他

- ・ 喫茶室から、俊立する八海山の全容が一望できる。

## 2. ボランティア活動 名称：

### 活動目的・経緯

- ・ イベント等の補助などを通して、美術館への理解を深めてもらう。

### 活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 8名（ 年）
- ・ 男性：5名、女性：3名（ 年）
- ・ 平均年齢35歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

### ボランティア担当職員

- ・ 部局： 担当人数：常勤 名・その他（ ） 名

### 活動の種類

- ・ 広報、展示作業、イベント準備。

### 活動その他

- ・ 美術館自体が小さいため、作業の補助の段階である。

### 関連する出版物

- ・

### 関連するHP

- ・

### 館外組織（NPO等）との連携

- ・



**活動個別シート** 広報、展示作業、イベント準備

◇活動開始年

- ・ 年

◇活動人数

- ・ 8名 ( 年)

◇活動内容

- ・ 広報、展示作業、コンサート等のイベント準備。

◇活動日

- ・

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・ 美術館自体が小さいため、作業の補助の段階である。

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

**館園名** : 新潟県立自然科学館

## 1. 施設の概要

### 開館年月日

- ・ 1981年11月01日

### 所在地

- ・ 〒950-0948 新潟県新潟市女池南3-1-1

### 公式サイト

- ・ <http://www.lalanet.gr.jp/nsm/index.html>

### 設立主体

- ・ 新潟県

### 運営主体

- ・ 財団法人新潟県文化振興財団

### 設立目的

- ・ 立県100年を契機に、次代を担う青少年が科学を正しく理解し、心豊かで創造性に富んだ社会人として立派に成長することを願って建設。

### 展示概要

- ・ 「自然の科学」「生活の科学」「不思議な広場」「新潟県の移り変わり」の4つの分野に分かれている。
- ・ この他、プラネタリウム、60cm反射望遠鏡、太陽の城、屋外展示場などがある。

### 活動概要

- ・ 春と夏に特別展を開催。
- ・ ハイビジョン・立体映像の実演、新エネルギーの実演など、各種の実験・実演を、毎日実施。

### 延床面積

- ・ 15,314.9㎡

### 全職員数

- ・ 40名

### 年間運営費

- ・

### 総資料点数

- ・ 展示品パッケージ数187

### その他

- ・ 2005年3月に、ロボットコーナーがリニューアルオープンする。

## 2. ボランティア活動 名称：サイエンスボランティア・メンテナンスボランティア

### 活動目的・経緯

- ・ 2000年4月、サイエンスボランティア活動開始。
- ・ 2002年4月、メンテナンスボランティア活動開始。

### 活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 46名（2004年）
- ・ 男性：32名、女性：14名（2004年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（2004年）

### ボランティア担当職員

- ・ 部局：理工課 担当人数：常勤3名・その他（ ） 名

### 活動の種類

- ・ ①サイエンスボランティア、②メンテナンスボランティア。③ロボットボランティア（仮称）

### 活動その他

- ・ 事業課内に、ボランティア用の机を配置。
- ・ 全体の運営は、館で実施。
- ・ その枠組みの範囲内で、ボランティアが自由に実施する。
- ・ 年度ごとに公募するが、定員に満たないので、年間を通じてHP、広報紙にて募集している。
- ・ 定年制なし。
- ・ 任期1年（更新可）。
- ・ ボランティア保険に加入。
- ・ 半年ごとに、プラネタリウム観覧券を2枚配布。
- ・ 館運営事業の拡大により、ボランティアを必要としているが、受け入れ体制が整備されていない。
- ・ ロボットコーナーのリニューアルオープンにより、ロボットコーナーの運営ボランティアを募集する予定。

### 関連する出版物

・

### 関連するHP

・

### 館外組織（NPO等）との連携

・

## 活動個別シート ①サイエンスボランティア

### ◇活動開始年

- ・ 2000 年

### ◇活動人数

- ・ 40 名 (2004 年)

### ◇活動内容

- ・ 工作教室で、工作や実験の企画・運営。

### ◇活動日

- ・ 土日祝日。

### ◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 活動費として、約 40 万円を計上。
- ・ 事業課内に、ボランティア用の机を配置。

### ◇運営 (シフト 等)

- ・ 工作教室ごとに、4~6 名の班を組み、指導を行う。

### ◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 定例打合せ会 (年 4 回) を実施。
- ・ イベントごとの打合せは随時開催。

### ◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 通年、ホームページ、広報誌に掲載して募集を行う。
- ・ 条件：理科や科学に関心のある方で、子ども好きで健康な方。
- ・ 年齢、性別の制限なし。
- ・ 任期 1 年間、更新可。

### ◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 館が、年 2 回、外部講師を招いて研修会を実施。

### ◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 交通費、昼食代の実費程度 (1800 円/回) を支給 (工作指導時のみ)。
- ・ ボランティア保険に加入 (費用は館が負担)。
- ・ 半年ごとに、プラネタリウム観覧券を 2 枚配布。

### ◇評価

・

### ◇課題と展望

- ・ 活動を殆どしないメンバーが出てきている (名前の登録のみ)。
- ・ 大学生等の若い人の加入促進が課題。

### ◇その他

- ・ 工作テーマによっては、リピーターが見られる。
- ・ 半年ごとに、工作教室の内容を取りまとめた報告書を作成 (ボランティアのみに配布)。

## 活動個別シート ②メンテナンスボランティア

### ◇活動開始年

- ・ 2002 年

### ◇活動人数

- ・ 6 名 (2004 年)

### ◇活動内容

- ・ 展示物の維持・管理。

### ◇活動日

- ・ 本人希望日、および科学館の繁忙日。

### ◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 活動費として年間約 33 万円を計上。
- ・ 事業課内に、ボランティア用の机を配置。

### ◇運営 (シフト 等)

- ・ 基本的に 1 名ごとに活動。

### ◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 定例打合せ会 (年 4 回) を実施。
- ・ イベントごとの打合せは随時開催。

### ◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 通年、ホームページ、広報誌に掲載して募集を行う。
- ・ 条件：理科や科学に関心のある方で、子ども好きで健康な方。
- ・ 年齢、性別の制限なし。
- ・ 任期 1 年間、更新可。

### ◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 館が、年 2 回、外部講師を招いて研修会を実施。

### ◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 交通費、昼食代の実費程度 (1800 円/回) を支給 (工作指導時のみ)。
- ・ ボランティア保険に加入 (費用は館が負担)。
- ・ 半年ごとに、プラネタリウム観覧券を 2 枚配布。

### ◇評価

- ・

### ◇課題と展望

- ・ ボランティアの数を増やし、職員のメンテナンス業務の一層の軽減を図りたい。

### ◇その他

- ・

### 活動個別シート ③ロボットボランティア（仮称）

◇活動開始年

- ・ 2005年（予定）

◇活動人数

- ・ 名（ 年）

◇活動内容

- ・ ロボット工作教室（展示品名：ロボット夢工房）での工作指導。
- ・ ロボット実演（2足歩行ロボット）の補助。

※以下は未定

◇活動日

- ・

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

**館園名** : 新潟県立歴史博物館

**1. 施設の概要**

**開館年月日（西暦）**

・2000年08月01日

**所在地**

・〒940-2035 新潟県長岡市関原町1丁目字権現堂2247番2

**公式サイト**

・<http://www.nbz.or.jp>

**設立主体**

・新潟県

**運営主体**

・(財)新潟県文化振興財団

**設立目的**

・新潟県の歴史及び民俗並びに縄文文化に関する県民の教養を高め、県民の学術及び文化の発展に寄与する。

**展示概要**

・「新潟県のあゆみ」「雪とくらし」「本づくり」「縄文展示」の四テーマで展示。さらに「縄文展示」は「縄文人の世界」と「縄文文化を探る」の2室構成。

**活動概要**

・企画展の開催。交流普及活動など多岐にわたる。

**延床面積**

・10,481 m<sup>2</sup>

**全職員数（常勤職員）**

・22名（2004年12月現在）

**年間運営費**

・530,000,000円（2003年度）

**総資料点数**

・約30,000点（2004年12月現在）

**施設その他**

・

## 2. ボランティア活動 名称：

### 活動目的・経緯

- ・企画展開催時に募集し、採用。  
これまでに2002年度の「移民物語」展の時のみ。  
2005年2月の「世界のバリアフリー絵本展」でも採用予定あり。

### 活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 10名（ 2002 年 月現在）
- ・ 男性：2名、女性：8名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

### ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・ 部局名称：交流普及課（企画展担当者が当該部局であったということ）
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（ ） 名

### 活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 企画展示室内設置の体験コーナーの体験補助。
- ・
- ・
- ・

### 活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

### 関連する出版物

・

### 関連するHP

- ・ <http://>

### 館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・



活動個別シート 活動名：①企画展体験コーナーの運営

◇活動開始年（西暦）

- ・2002年

◇活動人数

- ・10名（ 年 月現在）

◇活動内容

- ・企画展示室内設置の体験コーナーの体験補助。  
（体験内容の解説。体験用衣類の着脱補助等）

◇活動日

- ・随時（自由設定可能）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・連絡ノートを配置し、来館者の様子などの情報を共有。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・テレビ、新聞で広報し、募集。（依頼のため、採用したマスコミはテレビ新聞との1社のみ）  
長岡市国際交流課に関連団体を紹介してもらい、募集要項を配布。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・展覧会開催前日に実施（展覧会内容や体験コーナーの実務内容等）。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・1日につき1,000円支給（2002年の活動のみ）。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

**館園名** : 新潟市美術館

**1. 施設の概要**

**開館年月日**

- ・ 1985年10月13日

**所在地**

- ・ 〒951-8556 新潟県新潟市西大畑町 5191-9

**公式サイト**

- ・ <http://www.city.niigata.niigata.jp/>

**設立主体**

- ・ 新潟市

**運営主体**

- ・ 新潟市

**設立目的**

- ・ 美術に関する市民の知識と教養を高め、美術活動を推し進めることによって、郷土の美術文化の向上発展に寄与することを目的とする。

**展示概要**

- ・ ボナール、カリエール、ルドン、ピカソなど近現代美術、郷土ゆかりの作家を中心に、2,804点を収蔵。
- ・ 常設展は、年2回展示替を行う。

**活動概要**

- ・ 企画展（年4～5回）、美術講座、実習講座、子供講座を実施。

**延床面積**

- ・ 5,471.00 m<sup>2</sup>

**全職員数**

- ・ 13人

**年間運営費**

- ・ 174,019千円（2003年度）

**総資料点数**

- ・ 2,804点（他に寄託258点）

**その他**

- ・

## 2. ボランティア活動 名称：新潟市美術館協力会

### 活動目的・経緯

- ・ 美術を愛好する人たちが集い、館の活動への積極的な参加と協力をを行い、親睦を深めて行く。

### 活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 336名（2004年）
- ・ 男性：71名、女性：265名（2004年）
- ・ 平均年齢57歳：男性63歳、女性55歳（2004年）

### ボランティア担当職員

- ・ 部局：新潟市美術館協力会担当 担当人数：常勤1名・その他（ ）名  
（その他、活動に応じて担当がつく）

### 活動の種類

- ・ ①解説、②資料整理、③研修講座、④広報、⑤販売。

### 活動その他

- ・ 年会費：一般1000円、ジュニア500円。
- ・ 鑑賞会や展覧会の観覧料割引など特典あり。
- ・ ボランティア保険に加入（費用は協力会が負担）。

### 関連する出版物

- ・ 会報「ななかまど」、年2回発行。

### 関連するHP

・

### 館外組織（NPO等）との連携

・

## 活動個別シート ①解説

### ◇活動開始年

- ・ 1997年

### ◇活動人数

- ・ 15名(2004年)

### ◇活動内容

- ・ 「ふれあい美術館ガイド」：常設展の作品解説を交代で行う。
- ・ 市文化振興課主催事業「市内文化施設めぐり」の解説(各月2回)

### ◇活動日

- ・ 第3日曜日(「ふれあい美術館ガイド」)

### ◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 作家資料を提供。

### ◇運営(シフト 等)

- ・ 1年研修を体験した会員から、交代で担当。

### ◇交流(情報、組織 等)

- ・ 月2回の活動日に、情報交換。

### ◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 3~4月の協力会会員更新時に登録。1年更新。自由参加。
- ・ ボランティア登録制。

### ◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 毎月第2土曜日、常設展示室で相互に解説研修。学芸員が必ず参加し、助言する。

### ◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入(費用は協力が負担)。
- ・ 参加当日のみ、無料観覧。

### ◇評価

- ・ 活動日に、参加者全員により相互批評。

### ◇課題と展望

- ・ 人数は少ないが、若者の参加が増えて来ている。

### ◇その他

- ・ 解説部主催の研修旅行を計画している。

## 活動個別シート ②資料整理

### ◇活動開始年

- ・ 1995 年

### ◇活動人数

- ・ 34 名 (2004 年)

### ◇活動内容

- ・ 新聞記事のスクラップ。

### ◇活動日

- ・ 水曜日。

### ◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 館が作業に必要な用具を用意。
- ・ 実習室で作業を行う。

### ◇運営 (シフト 等)

- ・ 自由参加 (1 回あたり、5~10 人)

### ◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 活動日に情報交換。

### ◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ ・3~4 月の協力会会員更新時に登録。1 年更新。自由参加。
- ・ ボランティア登録制。

### ◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 必要に応じて、作業の簡単なガイダンスを行う (会員相互)。

### ◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入 (費用は協会が負担)。
- ・ 参加当日のみ、無料観覧。

### ◇評価

- ・

### ◇課題と展望

- ・ パソコン入力による新聞記事のデータベース化が課題。

### ◇その他

- ・

### 活動個別シート ③研修講座

#### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 1995 年

#### ◇活動人数

- ・ 21 名（2004 年 6 月現在）

#### ◇活動内容

- ・ 協力会主催の研修旅行や研修会の企画運営を行う。
- ・ 子ども美術講座のアシスタントを行う。

#### ◇活動日

- ・ 事業ごとに設定。

#### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

#### ◇運営（シフト 等）

- ・

#### ◇交流（情報、組織 等）

- ・ 参加日に打合せ。

#### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 3～4 月の協力会会員更新時に登録。1 年更新。自由参加。
- ・ ボランティア登録制。
- ・ 事業ごとに登録会員に連絡、参加の希望を取る。

#### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 子ども講座は、事前打合せをする場合もある。

#### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入（費用は協力会が負担）。交通費会費の支給はない。

#### ◇評価

- ・ 活動日ごとに反省会。
- ・ 旅行後にアンケートを集計。

#### ◇課題と展望

- ・ 自由参加のため、参加人数を事前に掌握しにくい。

#### ◇その他

- ・ 子ども美術講座のアシスタントは、子どもの指導に習熟したボランティアが数人いて、運営がスムーズである。

## 活動個別シート ④広報支援

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 1995 年

### ◇活動人数

- ・ 64 名（2004 年 6 月現在）

### ◇活動内容

- ・ 企画展の印刷物や美術館だよりなどの広報作業、ポスター、チラシの掲示、配布。

### ◇活動日

- ・ 各展覧会の約 1 ヶ月前、2 日間。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 実習室を使用。

### ◇運営（シフト 等）

- ・ その都度活動日を会員に連絡。自由参加。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 3～4 月の協力会会員更新時に登録。1 年更新。自由参加。
- ・ ボランティア登録制。活動日は、その都度登録会員に連絡。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 活動日に職員が説明。

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入（費用は協力会が負担）。
- ・ 参加当日のみ、無料観覧。

### ◇評価

- ・

### ◇課題と展望

- ・ 経験の差があり、作業前に確認が必要なことがある。
- ・ 遠距離の会員には、ポスターを自宅に送付し、地域に掲示してもらっている。

### ◇その他

- ・ 広報作業は、庶務係職員が担当。

## 活動個別シート ⑤販売

### ◇活動開始年（西暦）

- ・ 1995 年

### ◇活動人数

- ・ 57 名（2004 年 6 月現在）

### ◇活動内容

- ・ 企画展に関連する物品の販売にあたる。

### ◇活動日

- ・ 物品販売のある企画展開催時。

### ◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 用具は事前に用意（収益内から負担）。
- ・ 会場費についても収益内から負担。

### ◇運営（シフト 等）

- ・ 事前準備は、ボランティア代表、職員で行う。
- ・ 午前・午後の 2 交代。
- ・ 混雑が予想される場合、2 名態勢。

### ◇交流（情報、組織 等）

- ・ 連絡ノートを使用。

### ◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 3～4 月の協力会会員更新時に登録。1 年更新。自由参加。
- ・ 活動日は、希望制。

### ◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

### ◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入（費用は協力会が負担）。
- ・ 参加当日のみ、無料観覧。

### ◇評価

- ・ 自由参加のため、ボランティアの日程調整が難しい。

### ◇課題と展望

- ・

### ◇その他

- ・ 在庫管理は、庶務係職員が担当。